

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 10 月 27 日 (2011.10.27)

【公開番号】特開 2010-258919 (P2010-258919A)

【公開日】平成 22 年 11 月 11 日 (2010.11.11)

【年通号数】公開・登録公報 2010-045

【出願番号】特願 2009-108558 (P2009-108558)

【国際特許分類】

H 0 4 W 36/06 (2009.01)

H 0 4 W 40/02 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 3 0 5

H 0 4 Q 7/00 3 4 1

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 9 月 13 日 (2011.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

リレーノードと無線基地局とが無線ベアラを介して接続されている場合に、移動局が、該リレーノードとの間で無線ベアラを設定し該リレーノード及び該無線基地局を介して通信を行っている状態から、該無線基地局との間で無線ベアラを設定し該無線基地局を介して通信を行っている状態に切り替わるハンドオーバー方法であって、

前記リレーノードが、前記無線基地局に対して、ハンドオーバー要求信号を送信する工程と、

前記無線基地局が、前記ハンドオーバー要求信号を受信すると、前記リレーノードに対して、ハンドオーバー要求確認信号を送信する工程と、

前記リレーノードが、前記ハンドオーバー要求確認信号を受信すると、前記移動局に対して、前記無線基地局にハンドオーバーするように指示するハンドオーバー指示信号を送信する工程とを有することを特徴とするハンドオーバー方法。

【請求項 2】

リレーノードと無線基地局とが無線ベアラを介して接続されている移動通信システムであって、

前記リレーノードは、前記無線基地局との間の U n インターフェイスを設定するための無線ベアラ機能として、物理レイヤ機能と、該物理レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている M A C レイヤ機能と、該 M A C レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている R L C レイヤ機能と、該 R L C レイヤ機能の上位レイヤとして設けられている P D C P レイヤ機能と、該 P D C P レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている R R C レイヤ機能とを具備しており、

前記リレーノードは、前記無線ベアラ機能の上位レイヤ機能として、I P レイヤ機能と、該 I P レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている S C T P レイヤ機能と、該 S C T P レイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられている X 2 A P レイヤ機能とを具備しており、

前記無線基地局は、前記リレーノードとの間の U n インターフェイスを設定するための無線ベアラ機能として、物理レイヤ機能と、該物理レイヤ機能の上位レイヤ機能として設

けられているM A Cレイヤ機能と、該M A Cレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているR L Cレイヤ機能と、該R L Cレイヤ機能の上位レイヤとして設けられているP D C Pレイヤ機能と、該P D C Pレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているR R Cレイヤ機能とを具備しており、

前記無線基地局は、前記無線ベアラ機能の上位レイヤ機能として、I Pレイヤ機能と、該I Pレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているS C T Pレイヤ機能と、該S C T Pレイヤ機能の上位レイヤ機能として設けられているX 2 A Pレイヤ機能とを具備しており、

ハンドオーバ処理に係る制御信号は、前記リレーノードのX 2 A Pレイヤ機能と前記無線基地局のX 2 A Pレイヤ機能との間で終端するように構成されていることを特徴とする移動通信システム。